

診療科紹介：感染症科

県西部浜松医療センター広報誌No.9

平成21年1月発行(年4回発行)

皆様、こんにちは。今回は感染症科を紹介いたします。「感染症科」というのは日本では耳慣れない専門分野かもしれませんが、米国やヨーロッパではとても大きな診療科です。「先進国の中で日本だけが感染症科の発達していない国である」といっても過言ではないくらいです。最近では日本でも感染症対策の重要性が知られてきたせいか、いろいろな地域に感染症科が設立されてきました。**県西部浜松医療センターの感染症科の主な業務は「発熱外来」「輸入感染症診療」「HIV 診療」「ワクチン接種」「院内感染対策」「抗生物質の適正使用」**です。簡単に業務内容を紹介したいと思います。

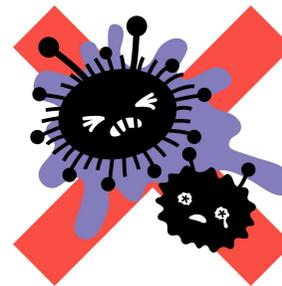
冬になりますと**インフルエンザ**が流行します。高齢の方々では重症となり、入院が必要なこともあります。このような疾患は感染症科の領域です。また、現在心配されている**新型インフルエンザ**は国を挙げて対処する必要がありますが、これも感染症科が大きく関連します。実際、新型インフルエンザが大流行すると、病院には数多くの方が受診されると思われます。その場合の感染対策や診療システムを組み立てるのも感染症科の仕事なのです。

東南アジアやアフリカから帰国した方々に発熱や下痢がみられることがあります。このような場合、**マラリア、 Deng熱、チフス、コレラ**といった**感染症**が心配になります。適切な治療と感染対策を実施しないと患者さんご本人ばかりでなく、同居家族も感染してしまいます。これらの輸入感染症の診療も感染症科の領域なのです。海外に渡航するということで、マラリア予防薬や A 型肝炎ワクチンなどを希望する方々もおられますが、やはり、感染症科が対応します。

最近では**HIV 感染者**が増加してきておりますが、浜松やその周辺地域も例外ではありません。ただ、昔とは異なり、治療の発達によってエイズにて死亡することは殆どなくなりました。HIV 感染した方々に最新のエイズ治療を提供するのも感染症科の役割です。

病院ではいろいろな科に患者さんが入院しています。その多くの方々**が感染症を経験**します。この場合、適切な抗生物質を点滴することが大切なのですが、抗生物質の選択や投与期間について活躍できるのもやはり感染症科なのです。

いかがでしょうか？感染症科の役割は大きいと思いませんか？**県西部浜松医療センターでは感染症科で医師が3人勤務**しています。浜松およびその周辺地域の方々の健康や安全を守る感染症科をご利用いただければ幸いです。



(副院長・感染症科長 矢野 邦夫)

ふれあい



佐鳴湖から見える富士山です。冬の良く晴れた日には、こんな素晴らしい景色が楽しめます。左側には、医療センターが見えています。

(写真提供：入野町 水野 隆夫 様)

目次

ご相談ください！看護ケア外来
クレジットカードでお支払いできます。
県西部浜松医療センターの
独立行政法人化について
市民公開講座「よくわかる！お産」
診療科紹介：感染症科
編集後記：あけましておめでとうございます

《編集後記》 あけましておめでとうございます。今回は入野町の水野様よりお借りした写真を表紙に掲載させていただきました。ありがとうございました。「ふれあい」では今年も当院の情報をたくさん皆さんに発信していきます。今年もよろしくお祈りします。

〒432-8580 浜松市中区富塚町3-2-8

発行：広報委員会

TEL 053(453)7111 : FAX 053(452)9217 URL <http://www.hmedc.or.jp> : E-Mail koho@hmedc.or.jp

～ ご自由にお持ち下さい ～

ご相談ください！看護ケア外来！

この度、**看護ケア外来**を設置しました。看護ケア外来では、より専門的な知識や技術を修得した**認定看護師**が患者さんからの**相談や、ケアの提供**を行っていきます。

乳がん看護（担当：天野 一恵）

《 毎週木曜日：乳腺外科外来 》

乳がんに関する相談を受け、患者さんの「こころ」に寄り添いながら、その人らしく生きていける力を支えていきます

皮膚・排泄ケア（担当：小梢 雅野）

《 毎日：外科、泌尿器科、皮膚科、形成外科外来 》

慢性皮膚潰瘍、床ずれ、ストーマ、便秘失禁のトラブルに対するケアを行います。「恥ずかしい」「年だから」と悩まないでご相談ください

緩和ケア（担当：吉川 陽子）

《 毎日：各科外来 》

がんに伴う痛み、呼吸困難、倦怠感、吐気、不眠などの**様々な苦痛や不安など心の苦痛を緩和**することを目指しケアを行います。治療の時期に関わらず患者さんやご家族が抱えている様々な問題を支援します

リハビリセラピスト（担当：仲山 綾子）

《 毎週月曜日・木曜日午後 完全予約制 》

手術後、顔・腕・足の**むくみで悩んでいる方**は各科の主治医に相談のうえ、対応させていただきます。

各診療科の医師や

看護師にご相談ください！

（外来室看護長 平松 みどり）

クレジットでお支払いできます

最近、病院でもクレジットカードが利用できるようになってきました。お手持ちの現金がなくても診療費のお支払いが可能で、カード会社によってはポイントがつくなど特典もあります。

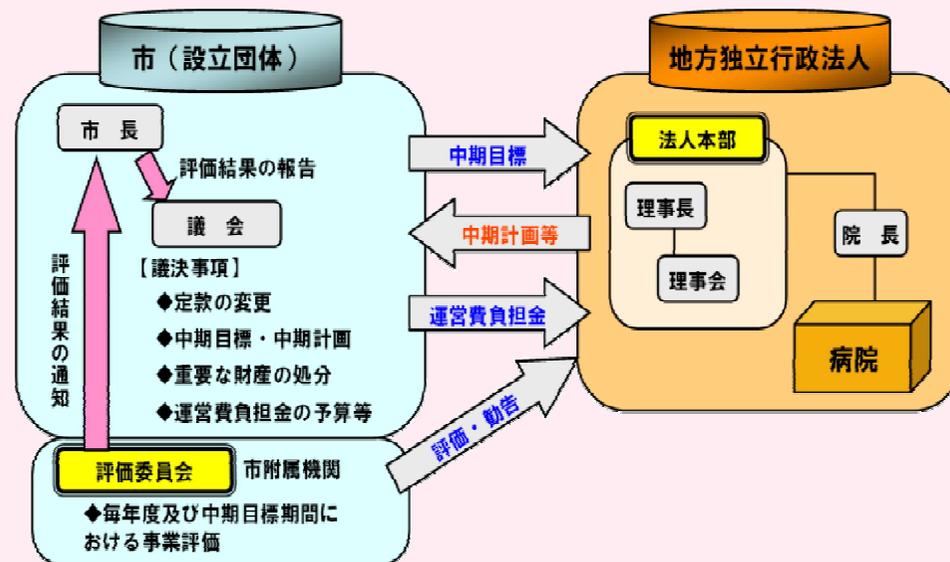
さて、当院においても平成 20 年 11 月 4 日からクレジットカードのお支払いサービスを開始しました。ほぼすべてのカードが利用でき、お支払い回数も選択できます。ご利用の際は、当院 1 階 6 番支払窓口でお申し出ください。

《 お取り扱い可能なカード 》



県西部浜松医療センターの独立行政法人化について

浜松市は、平成 22 年 4 月を目標に県西部浜松医療センターを地方独立行政法人による運営とすること表明いたしました。地方独立行政法人のしくみは、次のとおりです。このことにより、運営の自由性が増し、病院運営が効率化され、自主性が高まり市民の医療ニーズにより迅速な対応が可能となります。



市民公開講座 「よくわかる！お産」 （共催：浜松市 後援：浜松市医師会）

第 6 回市民公開講座は「お産」をテーマにお話します。東京では、妊婦受け入れ拒否など産科医療の在り方がニュースなどで報道されていますが、ここ浜松ではどうでしょうか。浜松市の産科医療の現状や今年 4 月にオープンするメディカルバースセンターについて、「お産」のことをわかりやすくお話します。

日 時：平成 21 年 1 月 24 日（土） 14 時～（13 時 30 分開場）

場 所：アクトシティ浜松コンgressセンター31 会議室

定 員：330 名（先着順・直接会場にお越し下さい）

講演 1：「わが国の産科医療は本当に安全でしょうか？」 院長 小林 隆夫

講演 2：「お産するということ ～助産師とともに～」 助産師 新田 京子

講演 3：「浜松における産科オープンシステムについて」 おおたにレディースクリニック院長 大谷 嘉明

講演 4：「当院におけるお産 ～メディカルバースセンターの開設に向けて～」 周産期センター副センター長 芹沢麻里子

講演 5：「浜松市の産科医療とこれからの展望」 浜松市医師会会長・大脇産婦人科医院院長 山口 智之

お産に関する質問を事前にメールでお寄せ下さい（メールアドレス：koho@hmedc.or.jp）